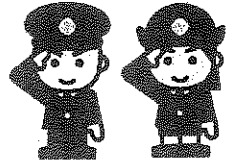




3月20日～3月26日

春の火災予防運動



春の火災予防運動を実施します。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

☑ 地震火災への対策を

大規模地震発生時には、火災が同時に多くの地点で発生するおそれがあるため、消防力が不足し、住宅密集地などでは大規模な火災の危険性が高くなります。また、地震に伴い、大規模かつ長時間に及ぶ停電が発生し、停電からの復旧後の再通電時に出火する、いわゆる「**通電火災**」の発生が懸念されます。

このような「**通電火災**」が発生した場合、住民が避難所などへ避難しており、出火時の初期消火が行えないといったおそれがあります。

「通電火災」のメカニズムとは？

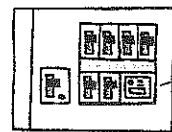
- 配線が転倒した家具などの下敷きになり、損傷した配線に再通電することで、発熱発火する。
- 落下したカーテンや洗濯物といった可燃物がヒーターに接触した状態で再通電することで、着火する。
- 転倒したヒーターや照明器具などが可燃物に接触した状態で再通電することで、着火する。

「通電火災」を防ぐためのポイントは！

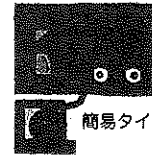
- 家具等の転倒防止対策（固定）を行う。
- 地震を感知すると自動的にブレーカーを落とす「**感震ブレーカー**」を設置し、電気の再通電を防止する。
- ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。

感震
ブレーカー

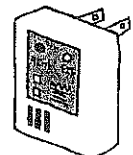
分電盤タイプ



感震センサー



簡易タイプ



コンセント
タイプ

☑ ごみの焼却や野焼きの拡大による火災に注意

⚠ 屋外でのごみの焼却行為は禁止されています。

剪定木や雑草、家庭ごみ等は焼却せず、指定のごみステーションに出すなど、適正に処理してください。



例外規定に該当した場合でも次のことに注意してください！

その場を離れない！

- 焼却行為をする場合には、必ず監視を継続し、やむを得ずその場を離れる場合は、一旦消火する。

消火用の水バケツなどを用意する！

- 燃え広がってしまったとき、又は緊急で消火する必要がある場合に備えて、水バケツなどを用意して消火ができる準備をする。

天候により中止する！

- 強風、乾燥注意報や警報が発令されているときは中止する。火の粉や灰は、風速2m程度の風でも遠くに飛ぶことがあり、風のない日でも天候が急変する場合があるので注意してください。

その他

- 気象状況や付近住民の生活に影響（煙・臭いなど）をおよぼす場合は、消火していただく場合があります。

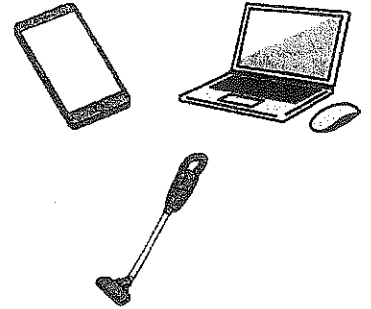


リチウムイオン蓄電池からの火災に注意

全国的にリチウムイオン蓄電池を起因とする火災が増えています。嶺北消防組合管内においても、令和6年中にリチウムイオン蓄電池を起因とする火災が1件発生しています。

「リチウムイオン蓄電池」とは？

リチウムイオン蓄電池は、繰り返し充電、放電できる電池のことで、二次電池の一つです。この電池は、主に小型で大量の電力を必要とする製品（スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど）に使用され、他の二次電池と比べて高容量、高出力、軽量という特徴があります。

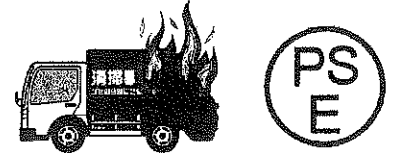


「リチウムイオン蓄電池」火災のメカニズムとは？

リチウムイオン蓄電池は、電解液として可燃性の有機溶剤を使用しているため、衝撃などにより内部の正極板と負極板が短絡し、急激に加熱後、揮発した有機溶剤に着火して出火に至ります。

「リチウムイオン蓄電池」火災を防ぐためのポイントは！

- 取扱説明書どおりに使用し、圧力や衝撃を与えない。
- 充電器やバッテリーは、付属品やメーカー指定のものを使用する。
- 高温や水に触れる場所を避けて、適切に保管する。
- 膨張、異音、異臭などの異常がある場合は使用しない。
- 一般ごみに混ぜるとごみ収集車の火災につながるため、絶対に他のごみに混ぜない。
- PSEマーク（安全基準の検査に合格した電気製品に表示されるマーク）が付いていて、製造・販売元が明示されている製品を使用する。



住宅用火災警報器の設置と点検

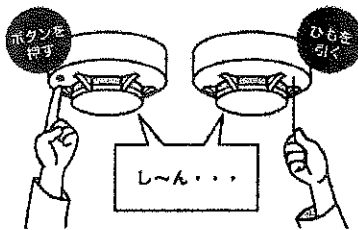
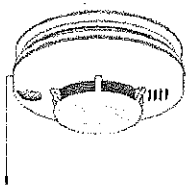
住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を感知して警報音や音声で、いち早く火災の発生を周囲に知らせることで、早い段階での避難と初期消火、119番通報が可能となり火災による被害を軽減することに繋がります。そのためにも、住宅用火災警報器の定期的な維持管理（点検）は大変重要となります。

維持管理（点検）の方法は？

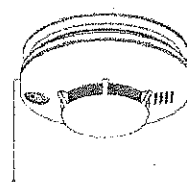
点検用のボタンを押すか、ひもを引いて動作確認を行います。動作確認を行っても機器に反応がなければ、本体の故障や電池切れが疑われます。

本体の故障はもちろん、電池切れや設置から10年を経過したものについては、古くなるとセンサーなどが劣化し火災を感知しなくなることがありますので、新品への交換をお願いします。

10年経過...



新品！



住宅用火災警報器の効果は大きい！

総務省消防庁調べによると、住宅火災における被害状況を分析したところ、住宅用火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、死者数と損害額は半減、焼損床面積は約6割減少した結果となり、住宅用火災警報器を設置することで、火災発生時の死亡リスクや損失の拡大リスクが大幅に減少することが認められました！

設置がまだの方は、少しでも早く設置していただきますようお願いします。重要！